

平成29年度 SSH コース 野外実習基礎講座（地学編）

8月に行われる「ScienceCampⅡ」の基礎実習講座として、5月29日（月）に千葉県勝浦・鴨川を中心とするフィールドワークにでかけました。

フィールドワーク1【勝浦 鵜原理想郷 三浦層群天津層】



鵜沢理想郷の砂泥互層を観察しました。層の構造や層が受けてきた浸食の様子から、層ができた当時の環境とそこから現在に至るまでの歴史を考察しました。



鵜沢理想郷は、砂や泥でできた柔らかい層が多く、海蝕の影響を受けやすいため、海蝕崖や海蝕洞が多くあります。また、ここにはウニの足跡の生痕化石も観察できます。海蝕壁は大きな露頭になっており、地殻変動の跡である断層や時折現れる火山灰層の様子から千葉県がどのような歴史を経てきたのか考察しました。

フィールドワーク2【鴨川 鴨川港・弁天島・青年の家】



弁天島では海嶺の跡を、鴨川青年の家では枕状溶岩を観察しました。

これらから、この場所がかつて海底にあったこと、マグマが流れ出る場所であったことがわかります。

また、近くの八岡海岸では、斑禰岩や玄武岩、砂岩、泥岩など多くの種類の石が見つかります。どうしてこの場所でこのようなたくさんの種類の石が見つかるのか、考察を行いました。